

2026年フクシマ連帯キャラバン報告書

全港湾 沖縄地本 田場 広誉

3月4日から7日にかけて、全港湾青年部としてフクシマキャラバンに参加した。東京・蒲田を出発し福島で合流後、結団式と勉強会を行い、翌日は被災地を視察した。現地では、映像や資料では伝わらない被災者の声や生活の困難さを直接感じ、復興が十分ではない現状を実感した。

また、茨城県内の市役所を訪れ、原発再稼働反対の要請書を提出したが、自治体ごとに対応の姿勢に差があり、市民の声の届き方の違いを感じた。

今回の活動を通して、自然災害の多い沖縄でも防災意識を高め、学んだことを地域で共有し備えを強化する必要性を強く感じた。